

第 48 回少年の主張全国大会～わたしの主張 2026～
開催要綱

1. 趣 旨 少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められています。
そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などと共に、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身に付けることが大切です。
少年の主張全国大会は、子どもたちにとって、これらの契機となることを願い実施するものです。
2. 開催日時 令和 8 年 11 月 22 日（日）13 時～16 時
3. 開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号
4. 対 象 日本在住の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの。
※国籍は問わないが、日本語で発表できること。
なお、作品は未発表、自作のものに限ります。
5. 主 催 国立青少年教育振興機構
6. 特別協力 公益財団法人上廣倫理財団（予定）
7. 協 力 青少年育成道府県民会議、全国青少年育成県民会議連合会、全日本中学校長会、
（予 定） 日本私立中学高等学校連合会、公益社団法人日本 PTA 全国協議会
8. 後 援 こども家庭庁、文部科学省、東京都教育委員会、日本放送協会、
（予 定） 一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会
9. 発表者・発表内容等
 - （1）主 張 発 表 者 各都道府県大会の代表者合計 47 名の中から、ブロック代表として 12 名の全国大会の発表者を決めます。
 - （2）ブロック代表定数 全国を 5 ブロックに分け、ブロック毎に出場者数を定め、それぞれのブロックの発表者を選出します。

○ 北海道・東北ブロック	2 名
○ 関東・甲信越静岡ブロック	3 名
○ 中部・近畿ブロック	3 名
○ 中国・四国ブロック	2 名
○ 九州ブロック	2 名

(3) 発 表 内 容

- ア 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
 - イ 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど。
 - ウ テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。
- 上記のような内容で、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークに、飾り気のない言葉でまとめたもの。
- また、商業的な固有名詞の使用は極力避けるようにしてください。
(悪い例：〇〇県にある〇〇旅館 良い例：〇〇県にある旅館 など。)

(4) 発 表 時 間 5分程度(400字詰原稿用紙 4枚程度)

10. 表 彰

- (1) 全国大会発表者(12名)に国立青少年教育振興機構理事長より奨励賞、全国大会発表者に選考されなかった都道府県大会代表者全員(35名)に同理事長より努力賞を贈ります。
- (2) 全国大会の審査委員会で審査の上、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞他を選考し、賞状を授与します。また、審査委員会の審査過程によっては、審査委員会委員長賞及び審査委員会特別賞が選考される場合があります。
- (3) 全国大会発表者全員(12名)に、記念品が贈呈されます。また、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞・審査委員会委員長賞・審査委員会特別賞を受賞された方には、副賞が贈呈されます。

11. そ の 他

- (1) 応募は、各青少年育成県民会議等を通して行います。
- (2) 全国大会に応募した作品の著作権は、国立青少年教育振興機構に帰属します。
- (3) 全国大会当日のプログラム、発表集には、本人の写真と氏名、学校名等を掲載いたします。
- (4) 全国大会実施後に作成する報告書(作品集)について、当日の実施風景をはじめ、全国大会に応募(推薦)された47作品全てを掲載し、本人の氏名及び学校名等を公開するとともに、関係機関に配布します。

※全国大会当日の発表の様子や審査結果については、本人の氏名及び学校名等をWEB上でも公開します。

12. 問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構
教育事業部 事業連携課 事業係
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
Mail shucho@niye.go.jp